



隠岐世界ジオパーク新聞

平成27年7月号
(通算 25号)



四国西予ジオパークとの交流

西予市は、愛媛県の南西部にある人口4万人弱で、海岸地域から山間部までの標高差が1400メートルの大きな市です。日本ジオパークに認定されており、約4億年前のサンゴや三葉虫の化石を含む黒瀬川構造帯の名前の元となった黒瀬川が流れています。この地層は東西に千キロ以上続く一方、南北の幅が数キロしかありません。

西予市との交流は、2013年に隠岐で行われたジオパークの全国大会にガイドを中心に25人も参加され、昨年は相撲を通じて隠岐の島町と交流がありました。

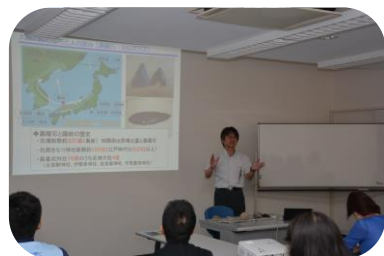
今回、日本ジオパークネットワーク中四国ブロックの活動の一つで、隠岐のガイドと本協議会のメンバーが西予市を訪問し、現地のガイドと意見交換会を行いました。それぞれのジオパークやガイドについての取組・工夫について話し合い、課題を共有し、自分の地域に対する理解を深める貴重な機会となりました。



本土初のジオパーク連続講座開催

本協議会では、隠岐世界ジオパークを広く知ってもらうため、松江市の山陰中央新報文化センターで本年6月から月に1回、全5回のジオパーク講座を開催しています。本土で一般向けに行われるジオパーク講座は、初めての取組となります。

第1回目は「世界が認めた隠岐の魅力」と題してジオパークの概要について紹介しました。2回目からはそれぞれテーマを絞った講座となり、7月は「不思議な生態系」、8月は「黒曜石と隠岐の歴史」、9月は「天皇が食した隠岐のアワビ」、10月は「幕末の日本と隠岐」についてです。最終回にはジオ検定問題にも挑戦してもらい、希望者への隠岐ツアーも企画しています。



【お問合せ】

隠岐世界ジオパーク推進協議会

(08512)3-1321

※講座は途中からの参加も受け付けます。

レンジャー通信

子どもパークレンジャー事業の第1回を行いました。

環境省では、国立公園に指定されている隠岐の自然に親しむ活動として、地元小学生がレンジャー（環境省の自然保護官）の職業体験を行う「子どもパークレンジャー事業」を実施しています。

今回は、東京大学臨海実験所のこうつか幸塚先生と隠岐の国ダイビングの川本先生をお招きして、都万小学校の5、6年生が油井の前の洲で自然観察会を行い、海辺の生き物の名前や形の特徴を学びました。今後、今回観察した生き物がどのように暮らしているかなどについて、調べ学習を行う予定です。



ウルトラマラソンが実施されました。 隠岐の島町

6月21日(日)に第10回記念隠岐の島ウルトラマラソンが開催されました。この大会は隠岐の島町を一周する100kmの部と半周する50kmの部で実施されています。アップダウンの激しい難コースと言われていますが、世界に認められた隠岐世界ジオパークの雄大な景観と町の皆さんのあたたかい応援がランナーに力を与えています。

大会はジオパークの素晴らしい景観を見ていただくために草刈や清掃作業を行った方など、たくさんボランティアのご協力により成功に終了いたしました。

○マラソンの大会記録について

(「隠岐の島町ホームページ内」観光情報) ウルト라마ラソン)

第10回記念隠岐の島ウルト라마ラソン結果速報)



翌日には、地域の皆さんに感謝の気持ちを入れて沿道のゴミ拾いランニングを行うランナーの姿もあり、大会テーマの「伝えよう感謝の心」にふさわしい大会となりました。
大会後ランナーの方から「隠岐の島ウルトラはとても評判がよかったです。100kmの部に参加しました。実際の島の人たちの応援は最高でパワーをもらい、感動しました。」などの嬉しい感想をいただいております。
ボランティアスタッフのご協力や沿道からのご声援ありがとうございました。

夏の夜

海士町

海士町では各地でヒメボタルやゲンジボタルが見られるようになりました。海士町の中で数ある蛍の名所の一つが隠岐神社です。夜の隠岐神社の境内に上がると辺りに街灯はなく、満天の星と飛び交う蛍に彩られた幻想的な世界が広がります。八百年前には後鳥羽上皇も同じ世界を見ていたのかも、などと思いをはせるのもジオパークの楽しみ方の一つかもしれませんね。
そんな夏の隠岐神社で竹灯籠の灯りの中、正式参拝をする「夜の隠岐神社まわり」に参加して自分だけのお守りを受けてみませんか。



隠岐でバードウォッチングツアーを実施！

西ノ島町

5月19日から21日にかけて、野鳥観察専門の旅行会社ワイバードのバードウォッチングツアーが島後と西ノ島を訪れました。野鳥観察専門の旅行会社が隠岐に来るのは初めてです。

参加者は、関東と関西を中心に19名で、西ノ島では焼火山や通天橋めぐり35種類以上の野鳥を観察しました。隠岐はすぐく珍しい鳥が見られるところではありませんが、多くの参加者の方が「普段見ている野鳥をこんな絶景や歴史ある場所で見られるのがすごい！」「野鳥に限らず花や虫、神社も興味深い」と感激していました。
初めてのツアーで内心不安もありましたが、隠岐は野鳥が好きな人でも充ち分樂しめる場所であることを実感しました。ツアーは来年も実施する予定です。



オオルリ

フランスからいらっしやい

知夫村

隠岐ジオパークの世界認定から2年。隠岐は、フランスの旅行ガイドブック「ブルーガイド」において、最高評価の三つ星を獲得しました。知夫里島にも外国人の方が少しずつ訪れる様になり、この日は、フランスからジョセフ(25歳)さんとマチルド(25歳)さんの素敵なカップルが民宿「なかはま」に宿泊し、赤壁、赤ハゲ山を歩いて楽しんでいただきました。赤壁は、とてもビューティフルと気に入っていただいたようです。経営者の中濱幸子さんによると「食事をきれいに食べた、電気などは、使用後にはすぐ消したりと私たちも教えられることが多かった」とのことでした。お二人の旅の安全と今後の幸せを祈り来居港より見送りしました。



隠岐世界ジオパーク新聞へのご質問、ご意見、ご要望は下記までお寄せください。

隠岐世界ジオパーク推進協議会事務局

〒685-8601 隠岐郡隠岐の島町港町塩口24番地 (隠岐支庁3階 県民局内)

メール info@oki-geopark.jp



(08512) 3-1321



FAX (08512) 3-1322

